

## 明日のスターを発掘！石田衣良氏監修の小説コンテスト 「第4回ノベリスタ大賞」選考結果発表

入賞者を石田氏より直接指導を受けられる「小説スクール」へ招待

<http://estar.jp/novelistar/04>

スマホ小説投稿サイト「E★エブリスタ」(<http://estar.jp>)を運営する株式会社エブリスタ(本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：池上 真之、以下エブリスタ)は、本日2014年10月9日に「第4回ノベリスタ大賞」の最終選考結果を発表いたしました。

# 第4回ノベリスタ大賞

審査委員長・石田衣良



「ノベリスタ大賞」は、直木賞受賞のベストセラー作家石田衣良氏が審査委員長を務め、文学界の「明日のスター」を育成・輩出することを目的として昨年9月に新設された小説賞です。優秀作品には石田氏が自ら講評を行い、その著者を石田氏が主催する小説スクール(※)に招くなど、プロ作家を目指して指導を行って参ります。

第4回ノベリスタ大賞では、最終選考の結果、バーを舞台にそこに集う人々の日常とちょっとした非日常を描いた「今夜も琥珀亭で」(著：深水)が大賞として選出され、『大人の恋愛小説という事なんです、妙に居心地が良く、上手い。舞台が北国の街にある、ぽっと暖かい明かりを灯したバーというのが逆に懐かしく、新鮮。』と石田審査委員長から講評もありました。

準大賞は「時空戦士パンII」(著：あお)に決定、その他2作品が入賞いたしました。大賞・入賞作に対しては、選考結果発表の公式ページ内の動画内にて石田氏自らが講評を行っています。また、入賞者は10月20日に開催される第三回「小説スクール」に招待され、石田氏による講義と指導を受けられます。

E★エブリスタは、文学界の「明日のスター」を支援して参ります。

## 最終選考結果

### ■大賞

著者名	タイトル	URL
深水	今夜も琥珀亭で	<a href="http://estar.jp/_novel_view?w=21251328">http://estar.jp/_novel_view?w=21251328</a>

### ■準大賞

著者名	タイトル	URL
あお	時空戦士パンⅡ	<a href="http://estar.jp/_novel_view?w=23222626">http://estar.jp/_novel_view?w=23222626</a>

### ■入賞

著者名	タイトル	URL
及川桜	シヨパンの指先【R-18】	<a href="http://estar.jp/_novel_view?w=23284038">http://estar.jp/_novel_view?w=23284038</a>
松田コウ	ジョーカーの確立 -1-	<a href="http://estar.jp/_novel_view?w=23302141">http://estar.jp/_novel_view?w=23302141</a>

### ■最終選考作品

著者名	タイトル	URL
☆angel	ふるーつ☆ばすけっと	<a href="http://estar.jp/_novel_view?w=21450688">http://estar.jp/_novel_view?w=21450688</a>
A o	コンビニの幽霊	<a href="http://estar.jp/_novel_view?w=23303821">http://estar.jp/_novel_view?w=23303821</a>

### <第4回「ノベリスタ大賞」概要>

募集期間 : 2014年7月15日(火)～2014年8月10日(日) 23:59

結果発表 : 2014年10月9日(木)

募集テーマ: 自由

ページ数 : 制限なし ※ただし、エブリスタ上の第1話(または40ページ以内)で審査します。

入賞者特典: 石田衣良審査委員長からの応募作品への講評

ノベリスタ「小説スクール」への招待

エブリスタ内の「ノベリスタパーク」ページへの作品掲載

### ※「小説スクール」について

小説スクールとは文学界の「明日のスター」を育成・輩出することを目的に、石田衣良が直接創作の秘訣を伝授する場です。過去の小説スクールの内容は動画にて無料公開中です。

<http://www.youtube.com/watch?v=uvgMvADGDj4>



### 株式会社エブリスタについて

株式会社エブリスタは、次世代のスマホ小説をプロデュースするスマホ出版社です。株式会社ディー・エヌ・エーと株式会社NTTドコモの合併会社として2010年に設立されました。毎日100万人が訪問するスマホ小説サイト「E★エブリスタ」を通じて200万点以上の作品を配信しています。また、年間100冊以上のスマホ作品の書籍化プロデュースや、スマホ小説だけで生活ができる作家を育成する「スマホ作家特区」等、スマホ小説文化の発展に積極的に取り組んでいます。( <http://everystar.jp/> )